

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成25年11月7日 (2013.11.7)

【公開番号】特開2012-79090(P2012-79090A)
 【公開日】平成24年4月19日 (2012.4.19)
 【年通号数】公開・登録公報2012-016
 【出願番号】特願2010-223705(P2010-223705)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/0482 (2013.01)

G 1 1 B 20/10 (2006.01)

G 1 1 B 27/34 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/048 6 5 4 B

G 1 1 B 20/10 E

G 1 1 B 27/34 S

【手続補正書】
 【提出日】平成25年9月20日 (2013.9.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 6 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 6 5 】

インタラクティブグラフィクスプレーン 1 2 で用いられる画像データが P N G 形式である場合には、画像データ中に、画素毎に不透明度データ 2 (0 2 1) を設定することができる。不透明度データ 2 は、乗算器 2 7 に供給される。乗算器 2 7 では、R G B / Y C b C r 変換回路 2 6 B から入力された Y C b C r データに対し、輝度信号 Y、色差信号 C b、C r のそれぞれについて、不透明度データ 2 との乗算が行われる。乗算器 2 7 による乗算結果が加算器 2 8 の一方の入力端に入力される。また、不透明度データ 2 の補数 (1 - 2) が乗算器 2 5 に供給される。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 9 5
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【 0 0 9 5 】

なお、以下では、フラグauto_action_flagにより、選択状態となったときに、割り当てられた機能が自動的に実行されるように定義されたボタンを、オートアクションボタンと呼ぶ。